

令和5年4月19日

財務金融委員会 安全保障委員会 連合審査会 質問要旨

立憲民主党  
階 猛

1. G7外相会合では、中国をめくり様々な議論が行われたようだが、中国の国債を自国が保有することや自国の国債を中国が保有することの安全保障上のメリットやデメリットについての議論はあったのか（外務大臣）
2. 大臣自身は上記の安全保障上のメリットやデメリットについてどう考えるか。それを踏まえた上で中国との間の国債の取引について政府として戦略的に取り組む必要性はないのか（外務大臣）
3. R3年度末の時点で国家公務員共済の年金運用資産のうち約200億円が中国国債に投資されていると聞いたが、R4年度末の時点では中国国債への投資残高はどうなっているか。併せて、年金運用資産の原資となる保険料のうち自衛隊員を含む防衛省関係の占める割合はどの程度か（財務大臣）
4. 中国が国債で調達する資金は軍事力の増強に使われる可能性があることを勘案すれば、防衛省関係の年金資金が中国国債への投資に使われることは問題ないか（防衛大臣）
5. 反撃能力を相手国への報復手段として用いる可能性はあるか（防衛大臣）
6. 13日に北朝鮮が発射した弾道ミサイルについて、自衛隊法に基づく破壊措置命令を発令したのか（防衛大臣）
7. 本法案には、東日本大震災時の法案と異なり増税に関する規定が盛り込まれていないのはなぜか（財務大臣）
8. 防衛財源のみならず「異次元の少子化対策」の財源を確保する必要もあると思うが、そのための法案はいつ国会に提出するのか（財務大臣）
9. R6年度以降の防衛財源を滞留させておく「防衛力強化資金」を設ける本法案の成立を急ぐ必要はあるのか（財務大臣）
10. R6年度以降の防衛財源に充てるため、R5年度の終了時に確定する外為特会の剰余金見込み額について、本法案を成立させて先取りし、「防衛力強化資金」への繰り入れを急ぐ必要はあるのか（財務大臣）
11. R6年度以降の防衛財源に充てるため、金利上昇時に逆ザヤが広がる場合に必要となる財政融資資金勘定の積立金について本法案を成立させて取り崩し、「防衛力強化資金」への繰り入れを急ぐ必要はあるのか（財務大臣）
12. これだけの税外収入を確保できるのであれば、期限延長を繰り返している一般会計から自動車安全特別会計への繰り戻しを速やかに行い、4月から始まった賦課金は中止するべきではないか（財務大臣）
13. その他、18日の当委員会における政府答弁に関連する質問（財務大臣）

以上

・資料は追って提出